

# 施策評価調書

## 1 施策の概要

(1)	施策名	障害者を支える福祉・保健・医療サービスの充実／地域生活支援施					
(2)	総合計画の体系	第	03	章	健康で安心して暮らせるまちづくり		
		第	03	節	障害者の暮らしを支えるまちづくり		
		第	31	細節	障害者を支える福祉・保健・医療サービスの充実／地域生活支援施		
(3)	事業費など (単位:千円)	項目\年度(平成)		27年度決算額	28年度決算見込額	29年度予算額	
		事業費(A)		2,505,115	2,840,419	3,322,075	
		従事職員数		7.68 人	7.67 人	6.34 人	
		所要人件費(B)		61,745	60,596	51,055	
		総事業費(A+B)		2,566,860	2,901,015	3,373,130	
		財源内訳	収入	国庫支出金	1,140,112	1,392,262	1,601,516
				府支出金	610,980	696,129	800,757
				その他	31,761	31,777	32,337
			市負担	地方債	0	0	0
				その他	0	0	0
一般財源	784,007			780,847	938,520		

## 2 評価の指標(施策に係る成果指標)

指標項目		項目\年度(平成)	27年度実績	28年度実績	29年度計画
指標内容	障がい者の成年後見制度利用支援事業の利用による市長申立実施件数	目標値 (単位:件)	3.00	3.00	3.00
		実績値 (単位:件)	2.00	1.00	/
目標値の積算方法	実績に基づく予算数値	達成度(%)	66.7	33.3	
		目標値 (単位:)	0.00	0.00	0.00
指標内容		実績値 (単位:)	0.00	0.00	/
		達成度(%)	0.0	0.0	

## 3 施策の点検(施策を進めるうえでの課題)

障がい者(児)が地域生活を営む上での多様なニーズに対応した支援体制の整備に努めるとともに、利用者本位のきめ細やかな対応により、サービス基盤の整備を促進し、制度の充実を図る必要があります。

4 施策の評価

次年度の優先順位	施策を構成する事務事業名	室課名	事業番号	市単独事業区分	施策への貢献度	各視点からの評価 (20 → 4) 高 → 低						今後の方向性 (実施計画)
						妥当性	有効性	効率性	公平性	持続可能性	合計	
1	成年後見制度利用支援事業	障がい福祉室	00471	なし	大	20	14	18	18	18	88	継続
2	訪問系サービス事業	障がい福祉室	00506	なし	大	20	18	18	18	14	88	継続
3	居住系サービス事業	障がい福祉室	00508	なし	大	20	18	18	18	14	88	継続
4	地域相談支援給付事業	障がい福祉室	00510	なし	大	18	16	20	18	16	88	継続
5	訪問入浴サービス事業	障がい福祉室	00504	一部	大	18	20	16	18	14	86	継続
6	地域活動支援センター機能強化事業	障がい福祉室	00502	なし	大	20	14	14	18	20	86	継続
7	障害者グループホーム助成事業	障がい福祉室	00496	全部	大	18	18	14	18	10	78	継続
8	短期入所施設運営事業	障がい福祉室	00464	全部	大	20	18	14	18	16	86	継続
9	障害者支援交流センター一般開放事業	障がい福祉室	00462	全部	大	20	14	16	18	14	82	継続
10	障害者短期入所事業助成事業	障がい福祉室	00497	全部	大	18	14	12	18	18	80	継続
11	障害者家具転倒防止器具設置助成事業	障がい福祉室	00481	全部	中	10	12	14	16	20	72	継続
12											0	
13											0	
14											0	
優先順位をつけるにあたっての考え方		障がい者の権利を守るための成年後見制度利用支援事業を上位とし、次に障害者総合支援法に基づく自立支援給付費支給事業及び地域生活支援事業の必須事業、市の単独事業の順としました。ただし、障害者グループホーム助成事業は制度の検討が必要であるため、点数によらず順位を上げています。										